

# ◆中間書庫の効率的運用に関する研究会の発足

記録管理学会 会長 山崎久道

会員の皆様、以下のような主旨から新しい研究会を発足させましたのでお知らせします。

1. 主 旨 懸案だった「公文書管理法」が去る7月1日に公布されました。

この法律の内容を具体的に進めていくうえで、記録管理学会にとって少なくとも2つの柱が考えられます。

1つ目は、レコードマネジャー、アーキビストといった「専門職の養成」であり、2つ目は、「中間書庫の効率的運営」です。

前者に関しては、記録管理学会はARMA東京支部とともに昨年10月に研究会を立ち上げ、4月に研究成果を報告書にまとめました。(報告書は記録管理学会ホームページに掲載済みです。)

次に後者の中間書庫に関しては、そもそも中間書庫とはなにか、その役割は、さらに各省庁に対する効率的な運営はいかにあるべきかなど、記録管理学会としての見解をまとめられたらと考えます。

このような主旨から、「中間書庫の効率的運用に関する研究会」を発足させます。

2. 期 間 2009年10月～2010年3月(計6回)

毎月1会合 18:00～20:30

3. 場 所 株式会社ワンビシアーカイブズ

虎ノ門タワーズオフィス3階会議室

4. メンバー

座長 小谷 允志 (レコードマネジメント研究所)

山崎 久道 (中央大学、記録管理学会会長)

小川 千代子 (国際資料研究所、記録管理学会副会長)

壺阪 龍哉 (株式会社トムオフィス研究所)

村岡 正司 (村岡レコードマネジメント研究所、記録管理学会理事)

荒 俊樹 (株式会社エフエム・ソリューション、記録管理学会理事)

金山 克己 (日本レコードマネジメント株式会社)

野村 貴彦 (株式会社ワンビシアーカイブズ)

板垣 一視 (株式会社ワンビシアーカイブズ)

(順不同)

内閣府および国立公文書館は、事情説明に対応して頂ける予定です。

5. 研究内容 第1回 メンバー自己紹介、研究内容の方向づけ

第2回 公文書管理法が目指す「中間書庫」の役割について

第3回 諸外国の実情研究

第4回 内閣府、国立公文書館とのヒアリング調査

第5回 我が国の実情にあった「中間書庫」構想

第6回 「研究会報告」としてのまとめ → 提言

<問合せ・連絡先> 壺阪 龍哉 (株式会社 トムオフィス研究所)

TEL: 03-3863-7975 E-mail: [tsubosaka@tom-office.co.jp](mailto:tsubosaka@tom-office.co.jp)

※なお、記録管理学会会員で本研究会のオブザーバーとして参加を希望される方がおられましたら、上記連絡先にお申し出ください。

以上